

## 記事内容

- ☆2022年度政策・制度要請
- ☆第30回チャリティーゴルフ大会
- ☆青年委員会「連合青年交流会」
- ☆平和行動in根室
- ☆第3回地協議長・事務局長会議/メンタルヘルス研修会
- ☆愛のキャンパ地域助成/第23回地方委員会公示
- ☆10月の行動予定表/ワークーズコープお知らせ
- ☆あけぼのビル

## 埼玉県知事に対する政策・制度要請

働く者・生活者の視点で取りまとめた9分野41項目を要請!



9月20日(火)10時から大野 元裕埼玉県知事に対して、近藤会長、平尾事務局長、大谷副事務局長の3名で訪問し、9分野41項目にわたる「2022年度政策・制度要請書」を提出しました。

冒頭、要請書の提出にあたり、近藤会長から「本年も、私たちは『働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—』の実現に向けて、働く者・生活者の立場に立った政策・制度要請をまとめてきた。すべての世代が安心して働き続けられる、誰一人取り残されることのない社会の実現、ならびに社会の様々な課題・不安の解消に向けた要請内容となっている。

大野知事の強いリーダーシップのもと、関係部署との十分な連携をはかっていただきながら、2023年度の予算編成に反映していただきますよう、よろしく願いする」との挨拶が述べられた上で要請書を手渡しました。

一方、要請を受けた大野知事からは、『連合埼玉の皆様には、平素から県政に対する御協力、御支援、特に「強い経済構築のための埼玉県戦略会議」への御協力を含めて大変ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

連合埼玉さんからの要請についてコメントさせていただきます。

「Ⅰ. 総合経済・産業政策」のうち、「1. 公契約条例の制定」についてです。

公契約の質の確保のためには、それに従事する労働者

の適正な労働条件の確保が不可欠であると認識しています。そのためには、まず、賃金など労働条件に関する法律の遵守が必要であることから、県内企業に対して労働関係法令のセミナーを毎年、実施しております。

また、本県が実施する公共工事や庁舎の維持管理業務などについては、品質の低下や下請業者などのしわ寄せが生じることがないように、最低制限価格あるいは低入札価格制度を設定し、極端な低価格による契約の防止に努めているところでございます。

9月8日でしたが、連合埼玉にも御参加をいただいて、価格転嫁の円滑化に関する全国初の「産官金労」の協定である、「価格転嫁の円滑化に関する協定書」を締結させていただき、本協定に基づいて、「パートナーシップ構築宣言企業」に対して、入札における優遇措置など、宣言を後押しする取り組みを検討したいと思います。

まずは、これらの取り組みをしっかりと実施しながら、公契約条例もしくは要綱については、実効的なものになるかどうか、検討してまいりたいと思います。引き続き、努力を続けていきたいと思っております」などのコメントが述べられました。

今後、11月には県の関係部局との意見交換をおこない、次年度の予算編成に反映されるよう取り組みを進めていきます。また、各地域協議会においても、11~12月にかけて該当エリア内の市町村に対して、政策・制度要請をおこなう予定となっています。

●要請内容にはついては、連合埼玉ホームページ < 主な取り組み > 政策・制度要請をご覧ください。

## 連合埼玉第30回チャリティーゴルフ大会開催 3年振りの「ナイス・ショット!」に沸く

9月15日(木)、おおむらさきゴルフ倶楽部において、構成組織・地域協議会・福祉事業団体・関係諸団体から88名が参加して、チャリティーゴルフ大会を開催しました。この大会はスポーツ交流会をつうじて、「働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-」の実現をめざすものです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、3年ぶりの開催となった今大会は、参加人数を例年の約半数に抑え、表彰式・パーティーは見送ったものの、全員参加の抽選会をおこないました。抽選会場では参加賞として、新しくユニオン連合埼玉の仲間に加わった村上朝日製麺所の新座名物「にんじんうどん」をお渡しし好評を得ました。



おおむらさきゴルフ倶楽部



にんじんうどん



抽選会パネル



優勝した浅見健さん(秩父地域協議会)



抽選会の様子

当日は曇天で、厳しい暑さも終わりを告げ、秋らしい涼しさも感じる絶好のゴルフ日和。その一方、参加者の表情は晴れやかで、何よりも旧友との再会を喜ぶ姿に、大会の長い歴史を感じました。

今回はパーティーが開催できないことから、会長賞と新たに設けた副会長賞を順位賞に組み入れ、表彰本数を増やして大会を盛り上げました。

皆様にご協力いただいたチャリティー募金の金額は169,177円となり、「ふれあい募金」に活用させていただきます。ありがとうございました。

順位	グロス	ハンデ	ネット	組織名	氏名
優勝	98	26.4	71.6	秩父地域協議会	浅見 健
準優勝	84	12	72	ときわ会館	高田 孝則
3位	84	12	72	フード連合	小泉 正一
ベストグロス	84	12	72	ときわ会館	高田 孝則

## 2022青年交流会(群馬・栃木・茨城・埼玉)開催

## 総勢35名の青年委員会メンバーが大宮に結集

9月2日(金)～3日(土)に連合群馬・連合栃木・連合茨城・連合埼玉の青年委員会幹事がオープンしたばかりのRaiBoC Hall(市民会館おおみや)に集合し、青年交流会を開催しました。

1日目は連合本部・組織企画局の亀井彰氏より、「連合運動の推進と連合青年委員会への期待」をテーマに、若者とともに進める参加型運動の取り組みについて説明がありました。続いて「青年委員会活動の自慢」(下記参照)を各地方連合会より報告があり、最後に「もしもの時、リーダーとして取るべき行動」をテーマに、ジョージ防災研究所の小野修平氏から講義とグループワークで学びました。

2日目は会場をルミネ大宮2屋上に移し、講師に埼玉県ブラインドサッカー理事長で埼玉T.Wingsキャプテンの加藤健人氏をお招きして、ブラインドサッカーを体験しました。アイマスクを付けて、パートナーの指示に従い体を動かすことから始めましたが、体を動かす困難さよりも、正確な指示を出すことの難しさを実感する体験となりました。

これは健常者同士のコミュニケーションも同様で、「もちょっと」「もう少し」という感覚は人によってまちまちで、「前へ、後ろへ」「あと〇センチ」などの明確で具体的な指示を伝えることの重要性を認識しました。



1日目 会場の様子



1日目 小野修平氏



2日目 ブラインドサッカー体験

## 【連合埼玉】

## ★埼玉県議会見学

埼玉県議会の本会議を傍聴  
連合埼玉推薦議員との意見交換

## ★国会見学

大島敦衆議院議員のナビゲート  
連合埼玉推薦議員との意見交換

## ★ユースラリー(10月開催予定)

仙台で被災状況を確認し、復興状況を視察  
災害時のリーダーの役割を学ぶ



## 【連合群馬】

## ★ウォークラリー交流会

構成組織青年層から55名が参加  
アイスブレイクと5kmのウォークラリーを実施  
100%楽しかったと大満足の回答

## ★政治参画意識を高める取り組み

女性委員会と合同で企画  
ユーチューバー「たかまつなな」を講師に招く

## ★G-ユースの集い(10月開催予定)

自然にふれあい環境問題について考える



## 【連合栃木】

## ★いちご狩り

2日間の開催で213名が参加

## ★自分磨き講座

オンライン開催(氏名・顔出しは無し)  
身だしなみ、マナー、コミュニケーションを学習

## ★恋コン(10月に開催予定)

出会い・婚活イベント  
屋外会場におけるバーベキュー



## 【連合茨城】

## ★産別交流・学習会

スポーツ交流としてのボウリング  
研修会としてテーブルマナー  
学習会として連合茨城会長の講演

## ★環境フェスタ(秋に開催予定)

森林環境教育として伐採作業を体験

## ★職場見学(秋に開催予定)

青年委員会・女性委員会の合同開催



# 2022平和行動in根室

～ 北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)の返還!

故郷への想いをつなごう!四島交流を進めよう!～

連合の平和行動として今年最後となる「平和行動in根室」が、9月9日(金)～11日(日)にかけて開催されました。本年は、新型コロナウイルス感染症を考慮し、参加人数を絞ったため、連合埼玉からは4名の参加(関東ブロック代表団33名の参加)に留まりました。

北方領土とは、北海道の北東部、根室半島の沖合に接する択捉島(えとろふとう)、国後島(くなしりとう)色丹島(しこたんとう)、歯舞群島(はぼまいぐんとう)のことで、北方四島とも呼ばれています。この北方四島は一度して、日本以外どこの国の領土にもなっ

ていない、日本固有の領土であります。

連合は、戦後70年を迎えた2015年の平和行動から、「次世代への継承」を掲げて取り組んでいます。元島民のみなさんも現在では人数が5,474人、平均年齢が86.7歳(2022年3月末時点)となっており、その思いと運動を次世代へ継承する取り組みが急務となっています。

私たち参加者は、今回の行動で感じたことを地域・職場に持ち帰り共有することで、返還運動に取り組むことを誓いました。

## 日程

2日目(9/10)

### ◆北方四島問題学習会

時間 13:30～16:15

場所 ベルクラシック根室

内容 講演①プーチンの戦争の衝撃と北方領土問題

講師:石川 一洋氏

講演②北方四島の自然と領土問題

講師:本間 浩昭氏

3日目(9/11)

### ◆2022平和ノサップ集会

時間 11:00～12:00

場所 納沙布岬・望郷の岬公園

内容 ・主催者挨拶 ・地元挨拶

・来賓挨拶 ・来賓紹介

・元島民の訴え ・特別報告(竹島問題)

・平和メッセージ ・ピースリレー

## 参加者

久保 陽一 (朝霞・東入間地域協議会/日本郵政グループ埼玉西南支部)

照井 直 (西部第四地域協議会/本田技研労働組合埼玉支部)

池田 誠 (北埼玉地域協議会/東邦車輻労働組合)

大谷 誠一 (連合埼玉副事務局長)



連合埼玉からの参加者



参加者全員でガンパロー三唱

## ☆参加者感想文☆

### 【設問】①平和行動に参加したのは何回目ですか? ②感想

①初めて

②私は、連合の取り組み平和行動のひとつである「2022平和行動ノサップ集会」及び、現地での学習会に参加させていただきました。集会の前日の学習会では、今まであまり人の手のつかなかった北方四島の貴重な自然が、ロシアによる乱開発によって失われつつあるという話を聞きました。北方四島の海域には、ラッコやマッコウクジラなどの観光資源や、水産資源が豊富にあり、とても魅力のある地域だという解説を聞きました。私は、貴重な日本の原風景として北方四島の自然が守られて欲しいと思いました。

平和集会の中では、元択捉島民の鈴木咲子さんが、故郷を離れなければならないときの悲しさと、今でも生まれ育った故郷を想う気持ちを語られていました。鈴木さんは、択捉島を離れるときに生き別れになってしまった人がいると語られていて、当時の悲痛な思いが伝わってきました。

北方領土の問題は、元島民の方々も高齢化していて解決が急がれますが、ロシアとの関係が悪化していて前進していない状況にあります。私たちにできることは、北方四島の魅力を多くの人に伝え、その土地で生まれ育った人がいまだ自由に行き来出来ない状況があることを理解していただき、平和的な解決を喚起していくことだと思いました。



久保陽一

①初めて

②今回、参加させていただき、日本が抱えている外交の問題・課題を再認識する機会となりました。現地へ足を運び、岬から見える北方四島やロシア関連施設は、ニュースで見えてきた、どこか他人事を感じていた感覚が自分の国の問題であるということや、苦しんでいる方がいるということを直接肌で実感する機会となりました。

観光で見る根室とは違う、少し重苦しい感覚はこの活動に参加したことでも感じられたものだったと思っています。また、今回をきっかけに日本の歴史や世界の歴史を今一度振り返るきっかけとなりました。善悪は見る角度や考え方によって大きく変わりますが、過去の事実はしっかりと記憶に残したいと思っています。

今回いけなかった方にも、見たこと感じたことを少しでも周りに広めていけるようにしていきたいと思っています。



照井 直

①初めて

②1945年8月15日に終戦し今年には戦後77年が経ちます。元島民の多くの方々亡くなられている中、今の我々若者が北方領土問題について将来同じ問題が起きないように本気で考え、将来を担う若い世代へと引き継いでいかなければならないと感じました。

我々の年代以下の世代が今平和に暮らしている現状を当たり前と捉えずに、更に良くして続けていくことを考え、行動することによって将来の日本も更に平和になり良くなっていくと考えます。



池田 誠

# 各市町村への政策・制度要請に向けスタート

## ～ 2022年度第3回地協議長・事務局長会議を開催 ～

9月2日(金)、2022年度第3回地協議長・事務局長会議が11地協から17名の役員と5名のアドバイザーが参加し、ときわ会館で開催されました。

7月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大第7波が減少傾向となったことを踏まえ、感染防止の徹底をはかりながらリアルで開催しました。

毎年この会議で地協の皆さんに説明する2022年度政策・制度要請については、今年は9分野45項目の要請となり、9月6日(火)の第10回執行委員会にて最終確認した後、9月20日(火)に埼玉県知事へ要請をし、

11月15日(火)には関係部局との打合せの日程となります。

また7月におこなわれた第26回参議院選挙について、ポスター張りや駅頭活動、事前の幹事会などでの候補者あいさつなど、各地域協議会から活動の報告をしていただきました。

新たに今年から取り組み始めた「政策・制度学習会」について、すでに実施した4地域協議会の内容報告をするとともに、これから実施予定の地域協議会も含めて意見交換をしました。



会場の様子

### 【2022年度第3回地協議長・事務局長会議議事】

1. 2022年度政策・制度要請
2. 2022年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」の開催について
3. 2022年度「地協活動報告」について
4. 地協役員退任に伴う「表彰対象者」の報告について
5. その他
6. 意見交換
7. 地域事務所関係

## 「働きやすい職場づくりのために」

### メンタルヘルス研修会(基礎編)を開催しました!

9月9日(金)、あけぼのビル501会議室にてメンタルヘルス研修会(基礎編)を開催しました。当日は9名の組合役員並びに会社担当者にも出席いただきました。

冒頭、連合埼玉を代表し、労働政策委員会委員長の二階堂副会長より「コロナ禍により多くの企業でテレワークが急速に広がった。そのような環境の影響もあり、メンタル不調者が増えている状況にある。連合埼玉では、応用編と基礎編として年間2回の研修会を開催しているが、本日の基礎編で知識を深めていただき、今後の活動に生かしていただきたい」と挨拶がありました。

講義では、日本カウンセラー協会シニア産業カウンセラーの久保 順一氏より、職場におけるストレスの状況やストレスとは何かといった基礎的な知識に加え、テレワークにおけるストレスの

特徴について説明があり、テレワークでは、雑談のコミュニケーションが不足することや仕事に集中できる環境が整わないことがストレスの主な要因と説明もありました。その後、傾聴についてのポイントをペアやグループでロールプレイ形式で学びました。

参加者からは、「非常に参考になった」とのご意見をいただきました。連合埼玉は、メンタルヘルスに対する取り組みを今後もおこなってまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



二階堂副会長



講師:久保 順一氏

## 「連合・愛のカンパ」地域助成・支援団体決定

## 「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けて

「連合・愛のカンパ」は、「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

今年の3月までの間、連合埼玉では、組合員およびその家族、あるいは退職者が積極的にNPOなどの運営に参加している団体や日常的な活動で連携しているNPO団体のおこなう事業・プログラムについて募集したところ、下記の4団体から応募があり、それぞれの団体の活動内容を確認後、4月に連合本部に助成申請をしました。

6月以降、連合本部の「連合・愛のカンパ」作業委員会および連合本部の中央執行委員会で審議の結果、連合埼玉から申請した4団体の助成が決定しましたので報告します。

## 【応募団体および活動内容】

・あゆみの会	大規模災害などの救援・支援活動
・フードバンク埼玉	地球環境保全活動や生活困窮者自立支援活動
・レインボーさいたまの会	人権救済活動や子どもの健全育成活動など
・加須ふれあいみんなの家	避難者に寄り添った交流会・支援活動

例年は、11月に開催の定期大会または地方委員会に助成を受けた団体を招き、活動内容を含めた紹介をしていましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から地方委員会での紹介を取りやめ、機関紙マンスリーでの報告といたしました。

2022年9月9日  
日本労働組合総連合会  
埼玉県連合会  
会長 近藤 嘉

## 公 示

連合埼玉規約第16条ならびに第19条にもとづき、第17回定期大会を下記のとおり開催する。

## 記

1. 日 時 2022年11月17日(木)13:00～
2. 会 場 ときわ会館5F大ホール  
さいたま市浦和区常盤6-4-21  
TEL:048-822-4411
3. 主要議事 (1)2023年度 活動計画(案)について  
(2)2023年度 予算(案)について  
(3)役員の補充選出について  
(4)その他

以上

## 現在予定される10月の日程表です

10月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	土		
2日	日		
3日	月		①埼玉労働局「令和4年度埼玉地方最低賃金審議会(本審)」(10:00～・埼玉労働局) ②連合本部「中小企業振興基本条例」に関するシンポジウム(13:30～・連合会館)
4日	火		
5日	水		①中央労働金庫「第4回運営委員会」「第2回県推進会議」合同会議(13:00～・ときわ会館) ②連合「第3回地方連合会代表者会議」(14:00～17:00・連合会館)
6日	木	第11回四役会議(15:00～・郡山ビューホテル)	
7日	金	第11回四役・執行委員会(12:30～・Jビレッジ)	
8日	土	連合埼玉東日本大震災福島視察	
9日	日		
10日	月		
11日	火	【東部ブロック】2022年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・三高サロン)	
12日	水		①川口・戸田・蕨地域協議会「幹事会」(18:30～・川口友愛センター) ②川越・西入間地域協議会「第10回幹事会」
13日	木		
14日	金	【北部ブロック】2022年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・キングアンパサダーホテル)	県央地域協議会「第9回幹事会」(18:30～・上尾東武ホテル)
15日	土		JEC連合「第21回定期総会」(13:30～・ときわ会館)
16日	日		①全自交「全国大会レセプション」(18:00～・大宮東天紅) ②川越・西入間地域協議会「クリーンキャンペーン」 ③草加市長選挙告示日 ④草加市議会議員選挙告示日 ⑤三郷市長選挙告示日
17日	月	女性委員会「第8回幹事会」(18:30～・WEB開催)	秩父地域協議会「第11回幹事会」(18:00～・秩父勤労者福祉センター)
18日	火	【西部ブロック】2022年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・ラ・ボア・ラクテ)	
19日	水	①九都県市首脳会議に伴う埼玉県知事への要請(16:00～・埼玉県庁) ②埼玉公務労協「第9回総会」(18:30～・あけぼのビル)	埼玉労働局「令和4年度埼玉地方最低賃金審議会(本審)」(9:30～・埼玉労働局)
20日	木	【南部ブロック】2022年度「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」(10:00～・15:00～・清水園)	
21日	金		2022連合中央女性集会(13:00～・東京ビックサイト国際会議場)
22日	土		
23日	日		①草加市長選挙投票日 ②草加市議会議員選挙投票日 ③三郷市長選挙投票日
24日	月	組合役員教育プログラム「修了証書授与式」(16:00～・さいたま共済会館)	
25日	火	第4回フェアワーク推進委員会(10:00～)	
26日	水		
27日	木	埼玉シニア連合「第7回幹事会」「第2回実行委員会」(13:00～・14:40～・あけぼのビル)	
28日	金		
29日	土	①議員会議「2023年度総会」(14:00～・ときわ会館) ②議員会議「議員セミナー」(15:00～・ときわ会館)	
30日	日		
31日	月		

## 2022年10月1日「労働者協同組合法」施行

9月3日(土)、埼玉県主催「労働者協同組合法に関する県民説明会」が開催されました。会場およびオンライン参加で合計310名ほどの参加がありました。大高研道さん(明治大学教授、協同総合研究所理事長)が「協同労働という働き方と労働者協同組合法の可能性」と題して講演。その後、法律の概要、設立方法などの説明がありました。また、実践報告として、「協同労働」を実践している事業所、法人移行を考えている事業所、これから「労働者協同組合法人」の設立を考える団体の方からの発言がありました。終了後、「協同労働」を進めたいという人たちが集い、懇談会を行いました。今後、埼玉県内4つの圏域でより地域に身近な実践を共有し、近い関係の方々とお出会うためのセミナーおよび個別相談会を開催します。ぜひ、みなさまご参加ください。

## 【お問合せ・セミナーなどの申込】

〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町2-5-15  
M・Mオフィス201

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 センター事業団 埼玉事業本部  
TEL:048-844-0085 FAX:048-844-0086 Mail:saitama@roukyou.gr.jp





### <物価上昇による動き>

10月1日を迎え、企業や自治体においても、今年度の上期を終え、下期がスタートしています。

その中で、4月以降の急激なエネルギー・原材料の高騰などによる物価上昇の影響、そして円安の動きは、私たち働く仲間の日常生活に、直撃しています。

この10月という節目のタイミングから、食料品の一部(マーガリンなどの油脂を原料とする商品、砂糖、卵の価格上昇による洋菓子や和菓子、輸入価格高騰による輸入食材の影響による牛丼、コーヒー価格など)、光熱費(電気料、ガス料金)、レジャー施設関連、タバコなどの嗜好品、輸入車などが値上げを予定しています。また、今後も値上げを検討しているところもあります。

このような急激な物価上昇は、生活支出が減少し、消費の減少にも影響し、経済へ影響も懸念されています。そのためには、国や自治体の経済・産業政策と雇用政策を一体的に推進が必要であり、来年度に向けた2023年春闘への取り組みに向けた準備も必要になります。

### <埼玉県の最低賃金>

10月1日より、埼玉県の最低賃金が昨年度より31円UPして、987円となりました。この最低賃金の改定により、原則として埼玉県で働く全ての労働者に対して、「時間額987円(引上げ率 3.24%)」以上の賃金を支払わなければなりません。そして、この最低賃金額の引上げにより埼玉県内の事業所で働く約16万人以上の労働者が引上げの対象となると推測されます。

今回の最低賃金の引き上げは、これまでの最低賃金の過去最高の引き上げ額であり、その背景には、近年の物価上昇に伴う影響を考慮した、水準額での決定と聞いております。

この引上げ額・率を見ても、物価上昇の影響が私たちの取り組みまく環境に大きく影響している結果でもあります。

ぜひ、各構成組織においても、最低賃金の引き上げに伴う、職場点検もお願いしたいと思います。

### <価格転嫁の円滑化に向けた協定書の締結>

埼玉県の強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議においては、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、2020年度より新型コロナウイルス感染症と共存できる強い埼玉県経済を公労使で作っていく必要性から、連合埼玉においても、労働団体の立場で参画しています。

今回、コロナ禍における経済・雇用への影響に加え、エネルギー・原材料価格高騰に対する影響も踏まえて、全国で初めて、産業、公共、金融、労働の各種団体により、「価格転

嫁の円滑化に向けた協定書」の締結がおこなわれました。

この協定の目的は、「産業、公共、金融、労働(産・官・勤・労)団体が相互に連携及び協力をし、労務費、原材料費、エネルギーコスト等の上昇分を適切に価格転嫁することについての気運を醸成することにより、サプライチェーン全体での共存共栄、付加価値の向上を図り、成長と分配の好循環を生み出し、県内中小企業、小規模事業者の稼げる力を高め、中小企業における賃上げを実現すること」を目的に協定しています。

この取り組みは、連合の重点政策において、中小企業への支援として「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配の実現(パートナーシップ構築宣言の推進)」に向けて、これまで要請している内容であり、実現に向けた一歩になっています。

このような急激な物価上昇の中だからこそ、適正な付加価値を循環への取り組みにより、それぞれの組織が相互に連携して、取り組む必要があります。



忍城址の御三階櫓

### <のぼうの城>

埼玉県の行田市には、小説「のぼうの城」の舞台にもなった「忍城(おしじょう)址・行田市郷土博物館」があります。

特に、豊臣秀吉の命を受けた石田三成が、梅雨時期の水攻めによって、本丸が水没しそうになりながらも、成田長親(忍城城主)の奇策によって落城を免れ、そして忍城は、水に浮かぶ城、難攻不落の“浮き城”と呼ばれています。また、その周りには「忍公園(忍城址公園)」として整備されています。

博物館を訪れると、忍城の戦国時代の歴史だけではなく、江戸時代の城主の歴史を含め、古代から現代にいたる行田の歴史と文化を学ぶことができます。

現在は、御三階櫓(ごさんかいやぐら)が城址に復元され、博物館の資料館として公開されています。櫓の最上階からは、行田市の市街地を一望することもできます。ぜひ、歴史探訪の場所としても、お勧めの場所です。

決して落ちることの無かった“浮き城”には、そこで戦った人々の知恵や工夫、地域の人々の支え合いがあったの城だったようです。コロナ禍に加え、物価高の影響には、地域や社会全体で課題を共有し、対策に取り組むことの重要性を感じています。

2022.9.20